

大阪代協

新入会員オリエンテーションを開く

大阪代協の新入会員オリエンテーションが昨年12月9日午後2時30分から、大阪代協会議室で行われ、新入会員5名と役員、支部長ら合わせて17名が参加。黒石光寿会長は新入会員に次のように挨拶した。

「本日は代協活動について理解を深めてもらいたい。みなさんの日ごろの活動に役立つ情報を提供しよう努めていますので、支部会や研修会などに参加し活動に役立てていただきたい」

引き続き、参加者の自己紹介が行われ、新入会員からは入会の動機として「一人でやっている」と情報が入ってこない」「代理店賠償に興味があった」などがあがった。

このあと、嶋康仁副会長から大阪代協の活動の紹介として、①大阪代協の組織、②取り組み内容、③各種委員会、④代理店賠償責任、⑤全国損害保険代理業国民年金基金などについて説明があり、黒石会長からは全国損害保険代理業政治連盟について紹介があった。



オリエンテーションのもよう

休憩後、山中昭平相談役が「代理店事務処理の歴史」、日本代協・小出富晴副会長が「日本代協の取り組み」についてそれぞれ話をした。